

- 問1 短期間で広範囲にわたって積み重なるため、離れた場所の地層が同じ時期にできたものか比較する際、基準となる地層を何という？
- 問2 マグマが噴火によって空中に放出され、それが積み重なってできる、粒の角がとがった特徴を持つ岩石を何という？
- 問3 火山岩の組織のうち、大きな結晶のまわりにある、小さな結晶が集まった部分のことを何という？
- 問4 地層ができた当時の年代を判断する手がかりとなる化石を何という？
- 問5 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 問6 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 問7 サンゴや貝の死骸が積み重なり、固まってできた岩石で、塩酸をかけると二酸化炭素が発生するものを何という？
- 問8 噴火の際にマグマの気体が急激に膨張し、飛び散った破片が冷えて固まったものを総称して何という？
- 問9 サンゴや貝殻などの生物の死骸が堆積してできる、塩酸をかけると反応する物質を主成分とする岩石は何からできている？
- 問10 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？
- 問11 マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？
- 問12 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？
- 問13 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
- 問14 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？
- 問15 火山岩特有の、大きな結晶と小さな結晶からなる組織を何という？
- 問16 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？
- 問17 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？
- 問18 地層ができた当時の、環境を推測するために役立つ化石を何という？
- 問19 地震において、最初の小さな揺れが始まってから、大きな揺れが始まるまでの時間を何という？
- 問20 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？

- | | |
|-----|--|
| 問1 | 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？ |
| 問2 | 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？ |
| 問3 | ある地層がいつの時代にできたものかを知るために使われる、特定の時代にのみ生存していた化石を何という？ |
| 問4 | 地層ができた当時の年代を判断する手がかりとなる化石を何という？ |
| 問5 | 流水が地表を削り取る作用を指す言葉は何か？ |
| 問6 | 地震そのもののエネルギーの大きさを示す尺度を何という？ |
| 問7 | 地震波のうち、伝わる速さが速い波によって生じる最初の小さな揺れを何という？ |
| 問8 | 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？ |
| 問9 | 地震が発生した地球内部の最初の場所のことを何という？ |
| 問10 | 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？ |
| 問11 | 地震発生時に観測地点へ先に到達する、最初の小さな揺れのことを何という？ |
| 問12 | 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？ |
| 問13 | 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？ |
| 問14 | 砂や泥などが長い時間をかけて積み重なり、押し固められてできたものを何という？ |
| 問15 | 地震において、主要動の前に観測される最初の小さな揺れを何という？ |
| 問16 | 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？ |
| 問17 | 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？ |
| 問18 | 深成岩において、結晶がほぼ同じ大きさで、すき間なく組み合わさっている組織を何という？ |
| 問19 | 地下のマグマが地表に噴出し、急激に冷えて固まった岩石を何という？ |
| 問20 | 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？ |
| 問21 | 火山が噴火し、地表付近で急激に冷やされた岩石の中で、比較的大きく育った結晶のことを何という？ |
| 問22 | 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？ |

- | | |
|-----|--|
| 問1 | 地層ができた当時の年代を判断する手がかりとなる化石を何という？ |
| 問2 | ある地層がいつの時代にできたものかを知るために使われる、特定の時代にのみ生存していた化石を何という？ |
| 問3 | 地震において、主要動の前に観測される最初の小さな揺れを何という？ |
| 問4 | 中生代に生息しており、地層の年代を特定する際の指標となる生物の化石を何という？ |
| 問5 | 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？ |
| 問6 | 泥岩や砂岩と同様に、土砂や生物の死骸などが水底に蓄積して固まることでできる岩石の総称を何という？ |
| 問7 | マグマが地表付近で冷えてできる火山岩のうち、代表的な岩石として挙げられるものを一つ答えよ。 |
| 問8 | 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？ |
| 問9 | 噴火の際にマグマの気体が急激に膨張し、飛び散った破片が冷えて固まったものを総称して何という？ |
| 問10 | 砂や泥などが長い時間をかけて積み重なり、押し固められてできたものを何という？ |
| 問11 | 地震において初期微動を引き起こす、伝わる速さが速い波を何という？ |
| 問12 | 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？ |
| 問13 | 地下のマグマが地表に噴出し、急激に冷えて固まった岩石を何という？ |
| 問14 | マグマの性質を左右する成分の一つで、この割合が高くなると粘り気が強く流れにくくなる物質を何という？ |
| 問15 | マグマが噴火によって空中に放出され、それが積み重なってできる、粒の角がとがった特徴を持つ岩石を何という？ |
| 問16 | 火山灰の微細な結晶や粒子を観察する際に用いる、拡大してもピントが合いやすい顕微鏡を何という？ |
| 問17 | 地層ができた当時の、環境を推測するために役立つ化石を何という？ |
| 問18 | 深成岩において、結晶がほぼ同じ大きさで、すき間なく組み合わさっている組織を何という？ |
| 問19 | 地震による地面の揺れを感知し、その到着時刻や強さを記録するための観測機器を何という？ |
| 問20 | 火山岩の組織のうち、大きな結晶のまわりにある、小さな結晶が集まった部分のことを何という？ |
| 問21 | 堆積物が長い年月をかけて押し固められ、岩石になる過程のことを何という？ |

- 問1 広い範囲に分布しており、地質時代を決定する際の基準となる特定の地層のことを何という？
- 問2 流水が地表を削り取る作用を指す言葉は何か？
- 問3 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 問4 離れた地点で見つかった地層同士を、特定の基準となる層を用いて比べ合わせ、同じ時期のものかを確認する作業を何という？
- 問5 火山岩において、急激に冷えてできた小さな結晶とガラス質が混ざった構造を何という？
- 問6 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？
- 問7 地震が発生した地球内部の最初の場所のことを何という？
- 問8 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
- 問9 サンゴや貝殻などの生物の死骸が堆積してできる、塩酸をかけると反応する物質を主成分とする岩石は何からできている？
- 問10 地震発生時に観測地点へ先に到達する、最初の小さな揺れのことを何という？
- 問11 砂や泥などが長い時間をかけて積み重なり、押し固められてできたものを何という？
- 問12 火山が噴火し、地表付近で急激に冷やされた岩石の中で、比較的大きく育った結晶のことを何という？
- 問13 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？
- 問14 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？
- 問15 マグマの性質を左右する成分の一つで、この割合が高くなると粘り気が強く流れにくくなる物質を何という？
- 問16 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？
- 問17 過去に繰り返し活動しており、今後も地震を引き起こす可能性のあるものを何という？
- 問18 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 問19 地震において、最初の小さな揺れが始まってから、大きな揺れが始まるまでの時間を何という？
- 問20 マグマが地下深くの高温状態にある場所で、時間をかけてゆっくりと冷却されることで形成される岩石を総称して何という？
- 問21 地震そのもののエネルギーの大きさを示す尺度を何という？

- 問1 サンゴや貝の死骸が積み重なり、固まってできた岩石で、塩酸をかけると二酸化炭素が発生するものを何という？
- 問2 広い範囲に分布しており、地質時代を決定する際の基準となる特定の地層のことを何という？
- 問3 地層ができた当時の、環境を推測するために役立つ化石を何という？
- 問4 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？
- 問5 泥岩や砂岩と同様に、土砂や生物の死骸などが水底に蓄積して固まることでできる岩石の総称を何という？
- 問6 噴火の際にマグマの気体が急激に膨張し、飛び散った破片が冷えて固まったものを総称して何という？
- 問7 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 問8 マグマの性質を左右する成分の一つで、この割合が高くなると粘り気が強く流れにくくなる物質を何という？
- 問9 地震において、主要動の前に観測される最初の小さな揺れを何という？
- 問10 特定の地質時代にのみ繁栄し、その地層がいつの時代のものかを決定づける化石を何という？
- 問11 火山岩の組織のうち、大きな結晶のまわりにある、小さな結晶が集まった部分のことを何という？
- 問12 堆積物が長い年月をかけて押し固められ、岩石になる過程のことを何という？
- 問13 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？
- 問14 離れた地点で見つかった地層同士を、特定の基準となる層を用いて比べ合わせ、同じ時期のものかを確認する作業を何という？
- 問15 砂や泥などが長い時間をかけて積み重なり、押し固められてできたものを何という？
- 問16 過去に繰り返し活動しており、今後も地震を引き起こす可能性のあるものを何という？
- 問17 短期間で広範囲にわたって積み重なるため、離れた場所の地層が同じ時期にできたものか比較する際、基準となる地層を何という？
- 問18 地震において初期微動を引き起こす、伝わる速さが速い波を何という？
- 問19 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？
- 問20 マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？
- 問21 地震波のうち、伝わる速さが速い波によって生じる最初の小さな揺れを何という？